

台風による災害状況について

- 連続して上陸する台風による被害と「ぎょさい」 -

首都圏を直撃した台風 23 号で上陸数は 10 個となり観測史上最高を更新しました。今年の台風の上陸が多い理由は太平洋の海水温が高いためと言われておりますが、地球温暖化の影響であるならば今年だけが特別ではないこととなります。現在、漁業経営は厳しい状況にあります。何らかの漁業災害が起きたならば即、倒産・廃業にもなりかねず、早急にその対策への取り組みが必要であることは議論を待ちません。対策の 1 つとして「ぎょさい」加入があります。大きな漁業被害を出した 15、16、18、21、22、23 号の状況を報告いたします。（詳細は下表参照）

台風 15 号は、北陸地方を中心に定置漁業に甚大な被害をもたらしました。特に、石川県では台風通過に伴う急潮流により、多くの定置網が壊滅的な被害を受けました。復旧には 2、3 カ月かかる見込みで、冬季のブリ漁に間に合うかどうか心配です。

台風 16 号は、九州地方などの養殖業に甚大な被害をもたらしました。特に被害が大きかった宮崎県の水産関係被害額 11 億 7 千万円とのことですが、その後も台風の来襲時に発生したスレによるへい死が続いており、被害は更に拡大しています。共済金は 3、4 億円と見込んでいます。

記録的な強風をもたらした台風 18 号は、沖縄県から北海道までの広い範囲に漁業被害をもたらしました。厳島神社の倒壊をテレビでご覧になった方も多いと思いますが、付近の海はカキの養殖場です。広島県のカキ養殖いかだは約 1 万台強ですが、このうち約 4 千台強が損壊するなど、大きな被害となっています。共済金は 20 億円を超えると見込んでいます。

停滞型で大雨を降らせた台風 21 号も広い範囲の養殖業や養殖施設、定置漁業に被害をもたらしました。特に三重県では雨水が湾内に大量に流れ込んだことによる養殖魚の死亡で約 2 億円の共済金を見込んでいます。

紀伊水道を通過した台風 23 号は、強い北寄りの風が特徴で、和歌山県、徳島県、香川県の魚類養殖業を中心に 10 億円を超える支払となる見込みです。

このような台風被害に対し漁業共済団体は、早期の共済金支払いでお役に立とうと考えておりますが、残念なことに未加入のために「ぎょさい」がお役に立てない方もいらっしゃいます。

最後になりましたが、被災した方々の一日も早い復興をお祈りするとともに、「ぎょさい」促進について関係各位の更なるご支援ご協力をお願いしたいと思います。

台風6号	定置網損壊等	東京、富山、徳島、香川、高知、宮崎
	養殖施設等	三重、徳島、沖縄
台風10号	定置網損壊等	静岡、徳島
	養殖施設損壊(いかだ、いけす他)	和歌山、広島、徳島
台風11号		
台風15号	定置網損壊等	青森、岩手、秋田、山形、新潟、富山、石川、京都、島根、山口、徳島、長崎
	養殖施設損壊(いかだ)	広島
台風16号	定置網損壊	北海道、岩手、富山、石川、山口、高知、福岡、長崎
	養殖施設損壊(いかだ、いけす)	兵庫、福岡、長崎、宮崎
	養殖魚へい死	高知、宮崎、鹿児島
台風18号	定置網損壊・沖刺網流失	北海道、富山、石川、京都、島根、山口、福岡
	養殖施設損壊(いかだ、いけす他)	岡山、広島、愛媛、福岡、長崎、熊本、大分、鹿児島、沖縄
	加工施設損壊(かき、しらす)	広島、山口
台風21号	定置網損壊	千葉、京都
	養殖施設損壊(いけす)	愛媛
	養殖魚へい死	三重、愛媛、熊本
台風22号	定置網損壊	静岡
	養殖施設損壊(のり)	千葉
	養殖魚へい死	静岡
台風23号	定置網損壊	京都、鳥取、徳島
	養殖施設損壊(いかだ、いけす、のり)	広島、徳島、香川、高知、福岡
	養殖魚逃亡・へい死	三重、和歌山、広島、徳島、香川、愛媛、高知、佐賀、熊本

(平成16年11月5日時点)